

トピックス **ぶらす**

3/31

震災復興とまちづくり

とめ会議所（大畑好司理事長）では、登米祝祭劇場において「震災復興とまちづくり」と題し、基調講演とパネルディスカッションを行いました。パネルディスカッションでは、宮城大学の風見正三教授をコーディネーターに、布施孝尚市長や南三陸町の佐藤仁町長などが、震災復興について活発に意見交換をしました。



▲さまざまな意見が飛び交ったパネルディスカッション

4/3

飲酒運転の根絶を目指して

佐沼警察署において4月3日、「佐沼地域飲酒運転根絶活動推進委員委嘱式」が行われました。委員には8人の市民が委嘱され、委嘱期間は平成24年4月1日から平成26年3月31日までの2年間です。今後の活動としては、迫町中江地区（一丁目～五丁目）を重点に飲食店などを定期的に巡回し、飲酒運転の根絶を強く訴えていきます。



▲県警察本部齋藤参事官(左)から委嘱状を受け取る委員

4/8

第20回少年サッカー大会が開催

南方中央運動広場などを会場に4月8日、第20回東北電力グループカップサッカー大会（市サッカー協会主催）が開催されました。大会には市内から、ジュニア・ユースの部に6チーム、スポーツ少年団の部に4チームが参加しました。試合の結果、ジュニア・ユースの部、スポーツ少年団の部ともエスペランサ登米FC（迫）が優勝しました。



▲ボールを追って激しく競り合う選手たち

4/15

米山野球大会で米山中が優勝

今回で第16回となる米山中学校近隣野球大会（米山町野球協会など主催）が、4月14日、15日の2日間、豊里運動公園を会場に行われました。大会には、米山中や豊里中など近隣中学8校が参加。2日間の熱戦の末、米山中が優勝しました。最優秀選手には米山中から平間伊吹選手、優秀選手には高橋大喜選手が選ばれました。



▲2日間に渡り熱戦が繰り広げられました

**登米地区小学生自転車安全講習会
自転車のルールを守って**

登米警察署管内の小学生を対象に4月14日、自転車安全運転講習会が開催されました。これは交通安全について興味と関心を高めてもらい、自転車交通事故を防止するために毎年開催されているものです。登米教育資料館で交通ルールなどについてのテストを行った後、登米交通公園で自転車の実技講習を行いました。参加児童からは「交通安全リーダーとして下級生に交通安全の大切さを伝えたい」という声が聞かれ、交通安全への意識が高まりました。



▲たくさんの児童が自転車の安全走行について学びました

**南方で高齢者交通安全教室
いくつになっても安全運転**

県道新田米山線の山成から高石行政区の一部区間が、4月に高齢者横断事故防止モデル地区に指定されたのを受け、4月9日に南方公民館で交通安全教室が開催されました。この教室はモデル地区内の高齢者を対象に行われ、楽しく運転適性診断を実施してもらおうと交通安全教育車（みやぎくん）の機材を使って反応速度や記録力、動体視力などを診断しました。参加者の中には、自分の診断結果に思わず苦笑いする人もいました。



▲ゲーム感覚で楽しく運転適性診断を行いました

**迫でスポーツ少年団クリーンキャンペーン
みんなで街をきれいに**

日ごろの活動場所や周辺環境への親しみを育み、自然環境に対する意識の向上を図ることを目的に、登米市スポーツ少年団迫支部クリーンキャンペーンが3月20日に開催され、団員と保護者、指導者など300人が迫地区内で清掃活動を行いました。参加した団員は、愛着のある日ごろの活動場所周辺の清掃活動を通して、ポイ捨ては良くないことだと再認識し、「思ったよりたくさんあった。みんなで気をつけてゴミを捨てないでほしい」といった感想が聞かれました。



▲気温が低くてとても寒い中、一生懸命にゴミを拾う子どもたち